

施策評価シート（令和3年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出		評価者	政策部長		
施策内容	今後の人口減少を視野に、ICT技術等の導入による行財政のスリム化と、コンパクトシティを考慮した施設の統廃合による公共施設の継続性をもった適正管理を進めます。 また、未利用町有地を町民主体の運営組織による独創的で柔軟な活用を進めることで、自然の魅力を感じられ、多世代が気軽に集える新たな魅力となる場を創出します。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	公共施設再配置	良好	有効だった	未耐震地域集会施設の耐震診断を行った。	
	2	財産管理経費	適当	有効だった	未耐震地域集会施設の耐震診断を行った。	
	3	東大果樹園跡地活用事業 ●推進交付金対象事業	適当	有効とは言えない	コロナの影響に伴い、イベントが予定通り実施できなかった。	
	4	新庁舎整備事業	良好	有効だった	ワークショップ等により意見を聴取し、基本計画を策定した。	
	5	行政改革の推進（まちづくり総合調整事業）	適当	有効だった	次期行政改革大綱を総合計画に包含する方向性を確認した。	
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	公共施設の総延床面積（㎡）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	68,729.08	68,590.24	68,451.40	68,312.57	D
	実績		68,729.08	68,729.08	－	
	分析	総論については異論は出ないものの、個別施設の各論では、調整に時間を要している。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）②	指標名	年少人口（15歳未満）の転入人数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	143	160	170	180	A
	実績		123	171	－	
	分析	計画値を達成しており、取り組みは良好といえる。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）③	指標名	東大果樹園跡地を活用したイベントの実施数（回）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	0	10	15	20	D
	実績		2	5	－	
	分析	コロナの影響により予定通りのイベントが開催できていない。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）④	指標名	耐震未確認の地域集会施設数（施設）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	9	3	3	0	A
	実績		3	3	－	
	分析	計画通り取り組みが進んでおり、未確認施設についても将来の方向性を確認できている。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・未耐震地域集会施設について必要な耐震診断を実施し、将来の方向性を確認した。 ・新庁舎並びに駅周辺のまちづくりについて、新庁舎・駅周辺公共施設再編計画を策定した。 ・東大果樹園跡地では、みらいはらっぱ事業がスタートした。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の進捗を確認し、見直しをする必要がある。 ② 東京大学果樹園跡地活用協議会、みらいはらっぱ活用事業者、行政の3者の連携。 ③ ホテル跡地を含めたラディアン周辺に行政機能を集約した将来の姿を示す必要性がある。 			
	改善点 (課題番号 に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ① 新庁舎・駅周辺公共施設再編計画、小中一貫教育推進計画の反映と時点修正。 ② 広く町民に知って活用してもらうため、広報に努める。 ③ 果樹公園跡地の用地交渉と、行政機能を集約した基本設計に向けた仕様の整理。 			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐震未確認の地域集会施設数などの目標値を概ね達成している点は評価できるが、庁舎を含む公共施設は町民全体のライフラインの要であり、一部施設の耐震性などに課題が生じ、現状は、町民にとって大きな不安材料となっている。公共施設は、災害時の拠点としての役割も有することから、新庁舎を含む公共施設の再編は町民との合意形成に努めながら、責任を持って前に進める必要がある。 ● 東大果樹園跡地は、みらいはらっぱ事業のスタートによる良い影響の期待はあるが、未だ限られた団体の活用が多いように感じられるところであり、手薄になっている中高生へのアプローチ方法の検討をはじめ、誰もが気軽に利用できるような環境の整備を進める必要がある。 			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	公共施設再配置 (担当課：施設再編課)	現状維持	継続推進	・これまで実施してきた耐震診断結果や各計画に基づき、町民への丁寧な説明による合意形成を図りつつ、災害有事にも対応できる施設の在り方を引き続き検討する。
	2	財産管理経費 (担当課：財務課)	現状維持	継続推進	・普通財産の売却を含む今後のあり方について、土地調整委員会の協議結果も踏まえつつ検討する。
	3	東大果樹園跡地活用事業 ● 推進交付金対象事業 (担当課：施設再編課)	要改善	見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学果樹園跡地活用協議会やみらいはらっぱ活用事業者との連携により、より有効な活用の方向性を見出す。 ・活用している町民が限られている現状から、広報等による周知を図り、多くの方が気軽に利用できる環境整備に努める。

	4	新庁舎整備事業 (担当課：施設再編課)	現状維持	継続推進	・庁舎は災害時に中心的な役割を担う場所であり、老朽化に対する早急な対応が求められる状況であるため、新庁舎・駅周辺公共施設再編計画に基づき、町民にとっても利用しやすい形となるよう検討しながら事業を進める。
	5	行政改革の推進 (まちづくり総合調整事業) (担当課：企画政策課)	現状維持	継続推進	・自治体DXを適切に進めることで、より町民の利便性向上を図り、行政サービスの向上に努める。